

**製品名: ATP5A1 (11Q15) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe07325**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:50-1:200,ICC/IF 1:100-1:200,FC 1:20-1:50
分子量	60kDa

**抗原情報**

遺伝子名	ATP5F1A
別名	Atp5a1; ATP5AL2; ATPM; hATP1; HEL-S-123m; MC5DN4; MOM2;
遺伝子 ID	498.0
SwissProt ID	P25705
免疫原	ヒト ATP5A の合成ペプチド

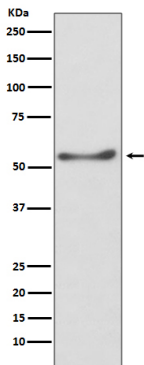
**背景**

ミトコンドリア膜 ATP 合成酵素 (F(1)F(0) ATP 合成酵素または複合体 V) は、呼吸鎖の電子伝達複合体によって生成される膜を横切るプロトン勾配の存在下で、ADP から ATP を生成します。F 型 ATPase は、2つの構造ドメイン、F(1) - 膜外触媒コアを含むドメイン、および F(0) - 膜プロトンチャンネルを含み、中心柄と末梢柄で結合しています。ミトコンドリア膜 ATP 合成酵素 (F(1)F(0) ATP 合成酵素または複合体 V) は、呼吸鎖の電子伝達複合体によって生成される膜を横切るプロトン勾配の存在下で、ADP から ATP を生成します。F 型 ATPase は、2つの構造ドメイン、F(1) - 膜外触媒コアを含むドメイン、および F(0) - 膜プロトンチャンネルを含み、中心柄と末梢柄で結合しています。触媒反応中、F(1)の触媒ドメインにおける ATP 合成は、中央の茎状サブユニットの回転機構を介してプロトン転座と結合する。サブユニット  $\alpha$  と  $\beta$  は F(1)の触媒コアを形成する。周囲の  $\alpha(3)\beta(3)$ サブユニットに対する中央茎の回転は、 $\beta$ サブユニット上の3つの独立した触媒部位における ATP の加水分解につながる。 $\alpha$ サブユニットは、触媒活性の高い親和性 ATP 結合部位を持たない (類似性による)。細菌のシデロフォアであるエンテロバクチンに結合し、エンテロバクチン由来の鉄イオンのミトコンドリア蓄積を促進する (PubMed:30146159)。

## 研究分野

ミトコンドリア; ATPase; ミトコンドリアマーカー; 複合体 V; がん

## 画像データ



HepG2 細胞溶解物中の ATP5A1 発現のウエスタンブロット解析。